

目 次

ようこそプリメール民法シリーズへ

第3版はしがき

凡 例

著者紹介

序 章 家族法を学ぶための基礎知識…………… 1

- 1 家族法の意義と変遷…………… 2
- 2 親族概念と範囲ならびに効果…………… 4
- 3 氏名と戸籍…………… 8
- 4 総則編と親族編・相続編との関係…………… 9
- 5 裁判所の種類と審級制度…………… 12

第1章 婚姻の成立…………… 15

- 1 婚姻の意義…………… 16
- 2 婚姻成立の要件…………… 18
- 3 婚姻の無効と取消し…………… 24
- 4 婚約・結納・内縁…………… 28

第2章 婚姻の効果…………… 33

- 1 一般的効果…………… 34
 - 1 夫婦の氏 (34) 2 同居・協力・扶助の義務 (37) 3 貞操義務 (39)
 - 4 契約取消権 (39) 5 成年擬制 (40)
- 2 財産的效果…………… 41
 - 1 夫婦財産契約と夫婦財産別産制 (41) 2 婚姻費用の分担 (45)
 - 3 日常家事債務の連帯責任 (46)

第3章 離婚の成立…………… 49

- 1 離婚制度の変遷…………… 50
- 2 離婚の手続…………… 52
 - 1 協議離婚 (52) 2 調停離婚・審判離婚 (56) 3 裁判離婚 (57)
- 3 有責主義と破綻主義…………… 61

第4章 離婚の効果…………… 65

- 1 財産分与…………… 66
- 2 子をめぐり問題…………… 72

第5章 親子…………… 77

- 1 実 子…………… 78
 - 1 嫡出子 (78) 2 非嫡出子 (81) 3 人工授精子・体外受精子 (85)
- 2 養 子…………… 88
 - 1 普通養子 (88) 2 特別養子 (94)

第6章 親権、後見・保佐・補助、扶養…………… 99

- 1 親 権…………… 100
- 2 後見・保佐・補助…………… 108
- 3 扶 養…………… 113

第7章 相続…………… 119

- 1 相続の意義と現代相続権の根拠…………… 120
- 2 相続法の制定経緯…………… 123
- 3 相続の開始原因・時期・場所…………… 125
- 4 相続回復請求権…………… 127
- 5 財産分離・相続人の不存在…………… 132

第8章 相続人と相続分…………… 139

- 1 相続能力…………… 140
- 2 法定相続人の種類と順位…………… 142
- 3 相続欠格と廃除…………… 145
- 4 相続分…………… 150
- 5 代襲相続…………… 164

第9章 遺産分割…………… 167

- 1 遺産の範囲…………… 168
- 2 遺産共有…………… 175
- 3 遺産の管理…………… 179
- 4 遺産分割の実行…………… 181
- 5 相続と税金…………… 187

第10章 相続の承認と放棄…………… 191

- 1 承認・放棄の総則…………… 192
- 2 単純承認…………… 194
- 3 限定承認…………… 195
- 4 相続放棄…………… 196

第11章 遺言と遺贈…………… 201

- 1 遺言制度…………… 202
- 2 遺言の方式…………… 203
- 3 遺言の一般的効力…………… 208
- 4 遺贈…………… 209
- 5 遺言の執行…………… 211
- 6 遺言の無効・取消し…………… 213
- 7 遺言の撤回…………… 215
- 8 無効遺言の死因贈与への転換…………… 217

第12章 遺 留 分	219
1 遺留分制度総論	220
2 遺留分権利者と遺留分割合	223
3 遺留分額と遺留分侵害額の算定	224
4 遺留分の減殺請求	228
5 減殺の方法と効力	231
6 遺留分減殺請求権の消滅	234
7 遺留分の放棄	236
参考文献ガイド	239
判例索引	243
事項索引	250

WINDOW 目 次

序-1	姻族関係って何?(7)	序-2	先 例(9)	序-3	身分と能力
(10)	序-4	家事紛争の解決方法(11)	1-1	再婚禁止期間の合憲性	
(20)	1-2	同性パートナーシップと同性婚(22)	1-3	子を嫡出子にするための婚姻(25)	
	1-4	知らぬ間の婚姻(26)	1-5	内縁準婚判決(31)	
	2-1	選択的夫婦別姓への動き(36)	2-2	単身赴任と同居協力義務(38)	
	2-3	家事の値段(43)	2-4	日常家事代理権と表見代理(47)	
	3-1	縁切寺と離縁状(51)	3-2	離婚も方便(54)	3-3
		離婚届不受理申出書(55)	3-4	アルツハイマー病離婚(59)	3-5
		有責配偶者の離婚請求(62)	3-6	5年別居離婚案(63)	4-1
		離婚時の年金分割制度(68)	4-2	財産分与についての法改正の動向(69)	4-3
		財産分与と慰謝料の関係をめぐる最高裁判決(70)	4-4	離婚後の共同親権・共同監護(73)	5-1
		推定の及ばない子と嫡出推定排除の基準(80)	5-2	嫡出子出生届と認知の効力(82)	5-3
		夫の死亡後、凍結保存精子で生まれた子の認知(85)	5-4	外国での代理出産によって生まれた子の出生届(86)	5-5
		生殖補助医療と親子関係をめぐる立法化の動き(87)	5-6	特別養子の戸籍(96)	6-1
		子の引渡しをめぐる紛争(102)	6-2	ハーグ条約(103)	6-3
		利益相反行為になるかどうかの基準(105)	6-4	児童虐待防止法(106)	6-5
		成年後見制度の改正(109)	6-6	引取扶養をめぐる裁判例(114)	6-7
		高齢者の介護(115)	7-1	共同相続人中の特定の相続人のみに対する全相続財産の遺贈と公序良俗(121)	7-2
		同時死亡の推定(126)	7-3	共司相続人間における相続回復請求(129)	7-4
		特別縁故者への遺産分与と共有持分権(137)	8-1	生殖補助医療による出生子と相続(141)	8-2
		相続に関する不当な利益を目的としない遺言書の破棄・隠匿行為と相続欠格事由(147)	8-3	非嫡出子の法定相続分と法の下での平等(151)	8-4
		相続人の配偶者の寄与(160)	9-1	遺体・遺骨の法律問題(169)	9-2
		相続財産中の預貯金の払戻し(176)	9-3	遺産である建物に居住する相続人の利用権限(180)	10-1
		相続放棄のための3か月間の熟慮期間は、何時から起算されるのか(193)	11-1	聴覚・言語機能障害者の公正証書遺言(205)	11-2
		検認と確認(213)	12-1	「遺留分」という用語(221)	12-2
		抗弁権の永久性の理論(235)			